

YMCA健康福祉専門学校

健康福祉ニュース

ハイライト:

- ・年始ご挨拶
- ・SEEDプログラムが
ケンリック賞を受賞
- ・就職内定報告

子は親の鏡

昨年11月の神奈川県教育委員会では、児童、生徒、教職員に対して向けていじめ防止緊急アピール「あなたが大切です」を発信しました。ご存じですか？このアピールには残念なことに「家庭」や「地域」がその対象に含まれていません。いじめは学校の問題でもありますが、決して「学校だけの問題ではない」はずです。大切な子どもたちの命を守るには「家庭」も「学校」も「地域」も一丸となって取り組まなければなりません。

すべての人にすべての場面ですべての命を守る責任があることがいつの間にか忘れ去られているかのような社会は、あってはならないのです。アピール文にもいじめを見ている人に対して「勇気をもって行動してください」とあります。この事が自然にできる社会であってほしいですね。

私たちYMCA専門学校でも将来の介護福祉士、保育士、スポーツ指導者など専門職にも資格取得だけでなく「資格を持つにふさわしい人格が必要」であることを懸命に伝えてきています。学生たちには、今まで以上にCaring(互いに配慮し合うこと)、Honesty(互いに誠実であること)、Responsibility(互いに責任を持ち合うこと)、Respect(互いに尊敬し合うこと)の大切な価値を身につけてほしいと強く願い、学生達のYMCAプログラムでのユースリーダー活動やボランティア活動への参加を奨励しています。



詩を紹介します。

子どもたちはこうして生き方を学びます。
批判ばかり受けて育った子は避難ばかりします。
敵意に満ちた中で育った子はだれとでも戦います。
ひやかしを受けて育った子ははにかみ屋になります。
ねたみを受けて育った子はいつも悪いことをしているような気持ちになります。
心が寛大な中で育った子はがまん強くなります。
はげましを受けて育った子は自信を持ちます。
ほめられる中で育った子はいつも感謝することを知ります。
公明正大な中で育った子は正義心を持ちます。
思いやりのある中で育った子は信仰心を持ちます。
人に認めてもらえる中で育った子は自分を大事にします。
仲間の愛の中で育った子は世界に愛を見つけます。

(作:ドロシー・ロー・ノルト 訳:吉永 宏)

この詩は、以前に全国的にも紹介された「子は親の鏡」というタイトルの詩です。子どもたちに向き合う大人たちに向けたすばらしいアピールではないでしょうか。平和な世界に育った子どもたちは平和な世界を担う大人に育つでしょう。



すばらしい新年になりますように祈ります。

YMCA健康福祉専門学校
校長 小林 一郎





神父様からメッセージをいただきました
「クリスマスおめでとう」

おごそかに、クリスマス礼拝

12月2日に、鎌倉にあるカトリック雪ノ下教会でクリスマス礼拝を行いました。横浜YMCAカレッジグループ5校合同のクリスマスです。大変美しい、厳かな教会大聖堂をお借りして行うクリスマスは、日ごろ街中に見る赤と緑の華やかなものとは一味違い、学生のみなさんも新しい感覚を覚えたのではないのでしょうか？当日はカトリック雪の下教会のロジェ・プロヴァンシェ神父様からメッセージをいただきました。礼拝後の祝会では、「星の子弦楽団」による演奏を楽しみました。今年介護福祉科2年の阿部雅人さんと健康福祉科3年の片平望さんが司会という

大役を見事に務めてくれました。演奏してくださった星さんは終了後、「専門学校生が大好きです。自分の夢に向かって短い期間でいろいろなものを吸収しようとする姿勢がすばらしい」とお話しくださいました。卒業、進級まであと少し、学生のみなさんがそれぞれの将来に向かって頑張れるよう、応援していきたいと思います。



寒い中、受付を担当してくれた委員のみなさん。お疲れさまでした！

あなたなら何を買う？
「有名になること」
「人を愛する力」
「実行力」
それとも…

高校の先生が学校見学に訪れました

12月5日に、神奈川県内の総合学科を持つ高校から、6校、9名の方が学校見学に訪れました。これは「総合高校と専門学校の教育連携協議会」の活動の一環として行われています。県内の総合学科高校での「福祉」や「情報」などの授業で専門学校の持つスキルを生かしてもらうことを目的のひとつとし、様々な形での教育連携を目指しています。さて、見学会当日は高校の先生(校長先生もいらっしやいました)に、YMCAで行う「社会福祉援助技術演習」の授業を実際に受け

ていただきました。「大切なものの競売」ということで、自分にとって大切なものは何かを考えながら限られたお金の中で買い物をしていく演習です。一番人気があったのは「健康」で「全財産を出してもほしい！」と競売に取り組む姿が印象的でした。



校長先生の一番大切なものは？

卒業間近！卒業論文発表会

12月25日、来年3月に卒業を迎える学生による卒業論文発表会が行われました。すべての学科の学生が卒業論文は必修です。「ゼミナール」の授業で、担当の教員のもと、自分の興味あるテーマ(自閉症・尊厳死・児童虐待など)や希望する進路についてのテーマ(子育て支援・障がい児保育・音楽療法など)、また実習で得た経験などからテーマを選び、マンツーマン指導をうけながら、卒業まで半年以上かけて論文を仕上げしていきます。11月末の提出日までみな必死になって完成させた論文は力作ぞろい！これが

ら就職を前にした学生の皆さんたちにとって(就職も順調に決まっています)、これらの経験や学びはかけがえのないものとなることでしょう。また、近年では論文作成にあわせて、パワーポイントを使った発表を行う学生が増加。「決められた時間内でのプレゼンは緊張！」と発表を終えた学生はホッとしていました。



カメラを向けられるとさらに緊張する～!?



福祉スポーツ科特集

「福祉スポーツ科」は幼児から高齢者まで、そして障がいのあるなしに関わらず、たくさんの人達が、スポーツを生活の中に取り入れながら楽しみ、健康に過ごせるように、対象者ひとりひとりをきちんと理解し、指導できる指導者の養成をおこなっています。

そのため、スポーツの領域の学びはもちろん、保育・児童教育、社会福祉、障がい者福祉、高齢者福祉についても学びを深めていきます。実習・演習といった「実際にやってみる」経験をとても多く設置。その経験を通して人とのかかわりや対象者理解を身体で学んでいます。



SEEDプログラムがケンリック賞を受賞！

2006年11月26日、日本YMCA同盟にてケンリック賞の授賞式が行われました。ケンリック賞とは日本のYMCAの活動を支えることで、日本社会に貢献したいと願う各国の大使や国際ビジネス分野で活躍するリーダーで構成されるサポート団体により、障がい児プログラムでの顕著な働きをした者に与えられる賞です。今回は1997年にはじまったプロジェクト「SEED(シード)」の10年の功績が受賞内容となりました。

“SEED(シード)”とは「種、種が発芽していくこと」を意味し、障がいのある子ども、ボランティアの学生がこのプログラムに参加することで発芽していくことを願って行われているプロジェクトです。10年前、厚木在住の障がいのある子どもの保護者達の活動の場を求める声にこたえ、オーストラリアブリスベンのプログラムに感覚統合理論を取り込み、体操プログラムとして始まりました。その後、野外や水泳へと発展し、今ではYMCA健康福祉専門学校の福祉スポーツ科の学生は授業の一部としてもこの活動に参加しています。今回特に受賞対象となった感覚統合を用いた野外プログラムは、これまで84回実施、参加した障がい児は2205名、学生ボランティアは2669名にのぼります。

YMCA健康福祉専門学校の学生には「SEEDがやりたくて入学した」という人もいます。また「第三者の目で、真剣に自分の子どものことを考えてくれるリーダーに、気づかされるのがたくさんあります」とおっしゃってくれる保護者の方もいます。年間を通して、また入学から卒業までを通して同じ子どもを担当する学生も多く、お互いに理解し、認めあい、様々な経験を通して互いに育ちあっています。



雪上プログラムより



授賞式の福祉スポーツ科学科長 小野晃先生(右端)

卒業を迎える先輩は、こんな進路を選んでいきます



スポーツ

磯部 綾子さん(福祉スポーツ科専攻科)
東富士健康管理センター
東富士スイミングスクール 内定

子どもへ水泳を教える仕事を目標に保育士資格も取得見込、と言ったら、採用担当の人は大変驚かれています。Yの卒業生も多く働いているので心強いです。学校での経験を活かし、高齢者の転倒予防トレーニングにも積極的に関わっていくつもりです。またアクアエアロの指導資格も取得したいです！



保育

鈴木 千晶さん(福祉スポーツ科専攻科)
(福)宝安寺社会授業部
小田原愛児園・乳児園

福祉スポーツ科ではいろいろな学びがあり取得できる資格も多いです。私も最終的に、高齢者施設で働くか、子どもの施設で働くかととても迷いました。しかし保育実習での楽しい経験が決め手となり、保育園の就職を決めました。スポーツが得意なので子ども達と身体を使ってたくさん遊べるような保育士になりたいです。



研究

福島 一敬さん(福祉スポーツ科専攻科)
千葉工業大学大学院博士課程前期
デザイン科学専攻 エンバーサルデザイン学科進学
高齢者施設での測定結果に基づく体力・筋力向上プログラムを組み立てる授業が大変興味深かったです。その経験から、福祉領域である高齢者の転倒予防トレーニングを人間工学の観点から研究してみたいと思い、進学を決めました。既に大学も卒業しているので長い長い学生生活になりますが、これからも頑張ります。



学校に興味をもってくれたなら・・・ これからのカレッジ・インと入試

12月26日には、入学予定者を対象としたオリエンテーションを実施しました。

YMCA健康福祉専門学校では3月まで入試を行います、入試ごとに定員は少なくなっています。

福祉、保育、スポーツに興味のある人、入試に不安のある人は是非早めにカレッジ・インにお越しください。

将来のこと、資格のこと、お金のこと、何でも相談してください。YMCAと一緒に考えます。

2007年 1月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	
14	15	16	17	18	19	20
	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2007年 2月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
	19	20	21	22	23	
25	26	27	28			



入試 1/21、2/4、2/18



カレッジ・イン 1/13 2/24 9:30 ~ 15:30



YMCA健康福祉専門学校

福祉スポーツ科
健康福祉科
介護福祉科

〒243-018

厚木市中町4-16-19

電話 046-223-1441

FAX 046-223-2101

Email: ymkenko@yokohama-ymca.or.jp

HP: <http://www.yokohamaymca.ac.jp/health>



小田急線本厚木駅から徒歩5分
本厚木駅周辺にはミロードをはじめたくさんのお店もあり便利です。有名ラーメン店もありますよ！

カレッジ・インに来てください！
1月13日(土) 9:30 ~

Realize your dream!

～地域福祉をささえるのはあなたです！～

YMCAではさまざまな活動を通して次のことを学びます。

「自分のいのちとみんなのいのちを大切にすること」

「家族、地域のひとりひとりとして責任があること」

「世界と地球を見つめ、考え、行動すること」

「ボランティア精神とリーダーシップを身につけること」

「すこやかな心と体を育むこと」

そしてこれらを実現するために、次のことを大切にします。

「Caring(思いやり)」「Honesty(誠実さ)」

「Responsibility(責任感)」「Respect(尊敬心)」

YMCA健康福祉専門学校では、カリキュラムや学校行事を通じて4つの大切な価値を意識する機会を取り入れています。将来、福祉・保育・スポーツの現場で活躍する学生のみなさんに、他者への思いやりの心を持ち、相手を敬い、自分の行動に責任を持ち、誠実に取り組んでいく専門職になってほしいと願っています。